

学園都市と共に歩み65年

つくば市を中心にタクシーとバス事業を展開する大曾根タクシー（本社・つくば市大曾根、塚本一也社長）は今年10月、創業65周年を迎える。学園都市と共に成長し、都市機能の一端を担ってきた同社の歩みと、今後のタクシー業界の進むべき方向性、つくばエクスプレス（TX）延伸がなぜ必要かなどについて塚本社長に話を聞いた。

都市機能担う

創業65年の節目に、これまでの歩みを振り返って見ますか。

塚本 父と叔父の2人で会社を興したのが昭和28年10月。タクシーなんてまだ地方にはなかったですね。昭和28年は、ちょうど二種免許制度ができた年です。公共交通がほとんどないような状況でタクシー事業を始めたのは、父が新しい物好きというか、チャレンジジャーだったからでしょう。政治家としても挑戦したように、そういうチャレンジ精神、スピリッツを私も若干引き継いでいるのかなという気がします。

その頃のタクシー利用といえば、嫁入りの時とかお葬式とか、限られていました。筑波研究学園都市の開議了解は昭和38年になりますが会社としては、学園都市と共に成長してきたとい



大曾根タクシー株式会社 取締役社長 塚本一也氏

つかもと かずや 1965年つくば市生まれ。土浦一高卒業、東北大学卒業、筑波大学大学院修了、一級建築士。元JR東日本グループリーダー、鉄道技術者としての知識と経験に基づいた著書「つくばエクスプレス最強のまちづくり」（創英社三省堂書店）がつくば市内でベストセラーになる。茨城県ハイヤー・タクシー協会理事青年部長。筑波学園タクシー協同組合理事。自民党茨城県ハイヤー支部長。

交通の知識と経験 まちづくりの役に活かす

「信用と実績」
科学万博、つくばエクスプレス（TX）開通と飛躍のステップがありました。

塚本 科学万博は今では想像もつかないようなバブルでした。弊社も臨時で増車を認めていただき、北海道から運転手さん呼び寄せ、寝泊りさせて対応しました。各国政府の要人の送迎も弊社1社で担当しました。信用や実績を重ねた結果だと思っています。

「交通事故ゼロへ」
「交通安全のいいまじり」について、お客さまを聞かせてください。

「TX延伸構想」
塚本 基幹交通の起点、終点というのは、ターミナルであるべきです。これは交通計画の大前提です。いまの秋葉原、あるいはつくばが、交通のターミナルになっていくかといえは、なっていません。秋葉原もつくばもターミナルに接続すべきです。それは駅でも空港でもいい。TXが未完成だという理由は、そこにあるわけです。

「環境と開発」
「環境と開発」
今秋、つくば市を会場に世界湖沼会議が開催されますが、環境を守るために塚本社長が力を入れている取り組みについてお聞きします。

「業界の今後」
「業界の今後」
タクシー業界は今後、どんな方向に進んでいくとお考えでしょうか。

「つくば市の課題」
「つくば市の課題」
交通問題以外でつくば市の課題をどうご覧になっていますか。

「アдекватな移動」
アдекватな移動していただくのがメリットです。そういうサービスを提供すると、どうしても料金の問題が出てきます。大量輸送機関ではないので、料金は高くなってしまう。物価相場から見ても確かに割高感があるかもしれません。

その料金の中には、人件費の占める割合が非常に大きく、そのほかにも運行管理とか安全管理の費用が入っていて、料金が成り立っています。人件費については、機械に置き換えることでコストが削減できるかもしれません。二種免許の必要性がなくなれば、別な単価で人をあてがうこともできます。サービスレベルを維持しつつ、つぎつぎと料金を下げ、生産性を上げていく。それが課題だと思います。少子化問題と社会に閉塞感、科学技術で解決するしかないと思います。その拠点になるのが、つくばではないでしょうか。

アдекватな移動していただくのがメリットです。そういうサービスを提供すると、どうしても料金の問題が出てきます。大量輸送機関ではないので、料金は高くなってしまう。物価相場から見ても確かに割高感があるかもしれません。

「TX延伸構想」
塚本 基幹交通の起点、終点というのは、ターミナルであるべきです。これは交通計画の大前提です。いまの秋葉原、あるいはつくばが、交通のターミナルになっていくかといえは、なっていません。秋葉原もつくばもターミナルに接続すべきです。それは駅でも空港でもいい。TXが未完成だという理由は、そこにあるわけです。

「環境と開発」
「環境と開発」
今秋、つくば市を会場に世界湖沼会議が開催されますが、環境を守るために塚本社長が力を入れている取り組みについてお聞きします。

「業界の今後」
「業界の今後」
タクシー業界は今後、どんな方向に進んでいくとお考えでしょうか。

「つくば市の課題」
「つくば市の課題」
交通問題以外でつくば市の課題をどうご覧になっていますか。

「アдекватな移動」
アдекватな移動していただくのがメリットです。そういうサービスを提供すると、どうしても料金の問題が出てきます。大量輸送機関ではないので、料金は高くなってしまう。物価相場から見ても確かに割高感があるかもしれません。

その料金の中には、人件費の占める割合が非常に大きく、そのほかにも運行管理とか安全管理の費用が入っていて、料金が成り立っています。人件費については、機械に置き換えることでコストが削減できるかもしれません。二種免許の必要性がなくなれば、別な単価で人をあてがうこともできます。サービスレベルを維持しつつ、つぎつぎと料金を下げ、生産性を上げていく。それが課題だと思います。少子化問題と社会に閉塞感、科学技術で解決するしかないと思います。その拠点になるのが、つくばではないでしょうか。

アдекватな移動していただくのがメリットです。そういうサービスを提供すると、どうしても料金の問題が出てきます。大量輸送機関ではないので、料金は高くなってしまう。物価相場から見ても確かに割高感があるかもしれません。



貸切バス事業者より
安全性評価認定(★★★)
されました

安全に、快適に、正確に



大曾根タクシー株式会社

取締役社長 塚本一也

茨城県つくば市花畑3丁目19-4 <http://www.taxi.e-tsukuba.jp/>

0120-000-302 ☎029-864-0301

☆お迎え料金無料 ☆カード利用OK!